

記入年月日
令和 3 年 4 月 15 日

事務事業名		行旅病人、行旅死亡人取扱事務		事業区分		担当	
				新規/継続	継続	事務事業No.	010401000515
政策体系上の位置付け				単独/補助	補助	所属課	040101
政策体系	総合計画の施策名	0104	地域福祉の推進				社会福祉課
	政策名	01	子どもから高齢者まで健康で共生のまちづくり			課長名	
	施策名	04	地域福祉の推進			グループ	社会福祉G
	手段名	01	①地域福祉活動の推進			担当者名	
財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計
	01	03	01	01	00	00	
法令根拠	行旅病人及び行旅死亡人取扱法			 期間限定の場合、総投入量を（3）投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その1）

手 段	(1) 事務事業の概要	
	①事務事業の概要（事務事業の全体像） 旅行中に病気等で倒れた救護者のいない行旅病人の救護、身元不明の死亡人や引取者のいない死亡人について葬祭を行う。事業費の内訳は、行旅病人や行旅死亡人が発生した時は、その状況により委託料（葬祭費用）、役務費（官報掲載料）等の予算措置を行う。	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 ・行旅病人については、医療機関において治療を受けさせ、費用代償などの請求事務を行う。 ・行旅死亡人については、遺体及び遺留品引き取り、火葬、官報への報告、費用弁償請求などの請求事務を行う。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 （担当者の活動内容）	④活動指標 （活動量を表す指標）	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
			（実績）	（実績）	（計画）	（目標）	（目標）
・行旅病人についての医療費弁償請求事務 ・行旅死亡人についての葬祭費弁償請求事務	医療費支払い件数	件	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	葬祭件数	件	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 （誰、何を対象にしているのか）	⑤対象指標 （対象の大きさを表す指標）	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
			（実績）	（実績）	（計画）	（目標）	（目標）
行旅病人・行旅死亡人	行旅病人	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	行旅死亡人	人	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 （この事業によって対象をどう変えるのか）	⑥成果指標 （対象における意図の達成度を表す指標）	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
			（実績）	（実績）	（計画）	（目標）	（目標）
行旅病人に医療行為を受けさせる。 行旅死亡人の葬祭をおこなう。	病人受診件数	件	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	葬祭扶助件数	件	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量（事業費）の推移				01年度	02年度	03年度			期間限定 総投入量
				(実績)	(実績)	(計画)			
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0		0
			県支出金	千円	0	0	0		0
			地方債	千円	0	0	0		0
			使用料・手数料	千円	0	0	0		0
			その他	千円	0	0	0		0
			一般財源	千円	0	188,320	0		0
			事業費計（A）	千円	0	188,320	0		0
			正規職員従事人数	人	1.00人	1.00人	1.00人		

事業費の内訳	02年度事業費 実績 (千円)			03年度事業費 予算 (千円)		
	11 役務費	14,830				
	12 委託料	173,490				
			合 計	188,320		合 計

事務事業名	行旅病人、行旅死亡人取扱事務	事務事業No.	10401000515	所属課	社会福祉課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 法令で定められている。行旅病人・死亡人が発生した場合にその都度対応している。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ なし					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)	☒ 結びついている	行旅病人・死亡人が発生した場合、対応が可能である。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)	☒ 妥当である	行旅病人及行旅死亡人取扱法により、市町村が実施する事務とされている。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)	☒ 向上余地がない	突発的に発生する事案に対して、最低限の対応を行うものであるため、向上の余地はない。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)	☒ 影響有	行旅病人・死亡人が発生した場合、対応ができなくなる。
有効性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ☒ 具体的な手段、事務事業名	☒ 余地がない	可能性なし
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)	☒ 削減余地がない	行旅病人の医療費及び生活保護法の葬祭扶助に準じて最低限の葬祭を実施するものであり、事業費の削減余地はない。
効率性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)	☒ 公正・公平である	行旅病人・死亡人の措置に要する費用である。
公平性			

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																		
①目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	②有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	令和2年度 実績あり 1名 早期における件への通知、死亡人の処理等が出来、官報への掲載に係る事務もスムーズに行うことが出来た。																		
③効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	④公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり																			
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																		
☐ 終了 ☒ 継続 ☐ 改革改善を行う ☒ 現状維持		(複数回答可) ☐ 目的の再設定 ☐ 効率性の改善 ☐ 有効性の改善 ☐ 公平性の改善 ☐ 統廃合ができる ☐ 連携ができる																		
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上維持		○	×	低下	×	×	×
		コスト																		
		削減	維持	増加																
成果	向上維持		○	×																
	低下	×	×	×																
		(6) 事務事業優先度評価結果																		
		成果優先度評価結果 ⑨																		

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 ☒ A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 ☐